

研修委員オープンキャンパスレポート

茨城県立医療大学 7月23日(土)

7月23日(土)、24日(日)の2日間、茨城県立医療大学でオープンキャンパスが行われました。参加は申込不要で自由に参加できます。23日(土)に参加しましたが、みなさん親子や友達同士で参加しているようでした。私は子どもが友だちと別行動してしまったので、「保護者のためのガイダンス」を受け、キャンパスツアーをお願いし、女子学生さんに学内を案内していただきました。その時に得た情報と、大学パンフレットをもとに報告いたします。



茨城県立医療大学は、保健医療のエキスパートを育てる大学で、学科は看護学科、理学療法学科、作業療法学科、放射線技術科学科があり、卒業生は茨城県を中心に全国の保健医療や福祉の現場で活躍しています。

➤ キャンパスの雰囲気・広さ



入学定員が看護学科 50 名、理学療法学科 40 名、作業療法学科 40 名、放射線技術科学科 40 名と学生数が少ない割には、実習棟、講義棟、図書館、体育館、グラウンドなど広々と配置されています。入学から卒業まですべての過程をこのキャンパスで行っています。

公立ということもあり、教職員の数も充分で、学業の面でも就職の面でも手厚く指導が受けられるという印象を受けました。

同じ敷地内には、附属病院もあり、こちらの病院と連携した実習なども行われているようです。実習で使用される医療機器は、実際の現場で使われているものと同じものがあり、設備は充実していると感じました。余談ですが、採血練習用の腕を使って採血の体験などをさせていただきました。

➤ 学食

福利厚生棟という建物に、売店、食堂があります。メニューは豊富ではありませんが、日替わりのメニューなど月ごとにメニューが貼り出されていました。この日のメニューは、ロコモコ丼、唐揚げランチ、わかめうどんでした。売店で食券を購入して利用します。300～400 円程度で食べられます。

売店には、書籍、文房具、食品等が並べられていました。



➤ 大学周辺の雰囲気

交通の便は決していいとは言えません。最寄駅は JR 常磐線 土浦駅または荒川沖駅で、土浦駅(西口)からバスで約 20 分(約 15 分おきに運行)、荒川沖駅(東口)からバスで約 15 分(約 1 時間おきに運行)というところにあります。自動車の場合は国道 125 号線から少し入ったところにあります。今回は自動車で行きましたが、大学内の駐車場を利用することができました。

近くには東京医科大学の茨城医療センターや茨城大学の農学部、役場や公民館など公共施設もあります。

大学の寮がないため、近隣のアパートで一人暮らしをする学生さんも多くいるようです。家賃の目安は、1 ルームで 35,000～50,000 円だそうです。自動車を持っている学生さんもいるようですが、多くは自転車を利用しているようです。最寄のスーパーなどは、大学から車で 10 分程度かかるようです。

➤ その他

このオープンキャンパスでは、「保護者のためのガイダンス」という説明会があり、以下の 3 点について説明がありました。

1. 就職支援について

キャリア支援センターの職員より、資格取得状況、卒業生の就職状況、就職のための支援について説明がありました。

2. 経済支援について

学生係の職員より、入学金・授業料・その他費用について、奨学金について、授業料の減免制度についてなどの説明がありました。これに関しては、質問コーナーが別に設けられ個別に対応していました。

入学金については、県内・県外によって金額に違いがあります。

3. 阿見町での生活について

阿見町で一人暮らしをしている 2 年生の女子学生さんより、生活の様子、近隣のお店、一人暮らしのメリット・デメリットなどについて、お話しがありました。

古河中等では、3 年次にこの大学を訪問し授業を受ける校外学習がありましたが、改めてオープンキャンパスに参加して、体験コーナーやキャンパスツアーで、そこで学ぶ学生さんたちに接することによって、子どもたちは自分に合っているかどうか感じる事ができたようです。親子ともに、思ったよりゆったりと体験や見学ができました。